

## 第11回 群馬県少子化対策推進県民会議 概要

1. 日 時 平成27年12月4日(金) 10:00～11:40

2. 場 所 群馬県庁29階 第1特別会議室

3. 出席者 県民会議委員 14名

### 4. 議 題

(1) 群馬県次世代育成支援行動計画(仮称)の策定について

(2) 地域少子化対策強化交付金事業の効果的な実施について

(3) 意見交換

### 5. 局長あいさつ要旨

平成21年2月に第1回を開催した本会議は、ぐんま子育て・若者サポートヴィジョン2010に関するご意見や、県庁各課が実施する少子化対策関連事業の進捗状況等についてご意見をいただいていた。少子化対策事業を推進してきたが、少子化の傾向には歯止めがかかっている。群馬県では、県の最上位計画である第15次群馬県総合計画の策定作業を進めている。群馬の明るい未来をつくるため、人口減少対策を土台に据えて策定していく予定である。

少子化の現状を反転させていくために、県としても粘り強く対策を進めていきたい。幅広い分野からのご意見をいただきたい。

### 6. 会長あいさつ要旨

人口減少問題が大きく論じられている中、この会議は少子化対策について議論する重要な機会であると考えている。委員の皆様と一緒に、たくさんの意見を出し合い、県政に反映させたい。御協力をお願いしたい。ぜひ忌憚りの無いご意見をいただきたい。

### 7.

#### (1) 議題1

質問・意見	回答等
少子化対策の基本を押さえている計画だ。就業支援の部分が若干弱い。若者を雇用する企業を応援する取組が欲しい。両立支援は、M字の底を上げるのに、どう正社員化を図っていくのか。男性の育休取得が重要である。男女がともに子育てと仕事を両立していく形でないと、子育ては女性のイメージに特化してしまう。推進体制が大切だ。	

<p>学習費調査で、すべて公立だと 500 万円の計算方法はどうなのか。</p>	<p>幼稚園から高校までの 15 年間という意味である。表現を工夫したい。</p>
<p>結婚支援だが、施策展開の記載をもう少し具体的にしたらどうか。若い男女の出会いの機会を増やし、異性の友人を作らせるために、公立高校、公立大学の共学化が必要だ。</p>	
<p>女性が働き続けるには、放課後児童対策が必要だ。男性の育休取得率の向上も目指すべきだろう。</p>	
<p>ワークライフバランスは、働き続ける上で重要だ。指標化されるのは期待したい。育児期の女性のみの問題ではない、正しい理解が必要だ。</p>	
<p>ジョブカフェとハローワークの連携が進んで欲しい。赤ちゃんとのふれあい体験は非常に良い取組だ。</p>	
<p>欲しい子どもの数の調査が興味深い。欲しい人が欲しい数の子どもを持てる施策があると良い。奨学金制度を持つ企業を応援する仕組みがあれば良い。</p>	
<p>学童が不足している。発達障害の兆候がはっきりわかるのは 5 歳頃なので、このタイミングの検診を広めて欲しい。</p>	
<p>結婚が進まないのに雇用の問題は大きい。また、男女とも積極性が乏しい。</p>	

## (2) 議題 2

質問・意見	回答等
<p>ポータルサイトで 1 箇所で見られるのは非常に良い。スマホ対応が欲しい</p>	<p>スマホ対応としている。</p>

ラジオ番組が聞きづらい時間帯だ。聞き逃した人のために、ポータルサイトのリンクが張れないか。	子育て中の方で、家事が一段落し、幼稚園等から子どもが帰宅するまでの時間帯として設定した。
テレビやラジオは、学生等の若い世代はほとんど見ない。SNSの利用を検討したらどうか。	(データ等の掲載を、別途検討)
アプリにはならないのか。	(県のセキュリティ上難しい旨、別途説明)
スポットCMの実績・効果とは何か。	実績は事業実績報告である。効果はアンケート調査で考えている。

### (3) 議題 3

質問・意見	回答等
17歳以下の人工中絶件数は、目標0ではないのか。十代の自殺件数の目標も、0を目指してもらいたい。虐待に関する指標の表現も工夫が欲しい。子育てや教育の経済的負担は親しだい。学校にかかる経費とそれ以外を混同しない表現で願いたい。	人工妊娠中絶は、母体保護のケースもある。自殺件数と虐待の件は、表現を考えたい。
若者就職のワンストップ支援は、何を示すのか形を示して欲しい。技能職、専門職の養成について盛り込んで欲しい。	
女性健康センターの相談件数は、増える方が良いのか。	相談箇所を認識いただき、体制を整えるという意味である。
母子家庭の離婚が多い。親にもライフデザイン教育の重要性を知らせたい。	
3人目を持てるよう、第3子以降保育、幼稚園、学童、給食は無料化したらどうか。	
発達障害の支援は、どこかがキャッチして支援につなげていくことが必要。医療機関、療育機関とのつなぎの部分県には期待したい。	